

「ニュースメディアの信頼性を問う」

～「再訪」の試み～

1 目的

近年、日本においてもジャーナリズムおよびメディアに対する信頼の低下が指摘されるようになってきた。それは、たとえば公益財団法人新聞通信調査会の報告などにみられる。これまで、諸種の国際比較調査などで、欧米先進諸国に比して、日本のジャーナリズムやメディアへの信頼の高さが指摘されていたが、それも陰りをみせている。

また、ジャーナリズムやメディアに対する信頼の低下は日本のみの現象ともいえない。国際比較や世論調査の経過報告などによって、とりわけ21世紀以降、低下傾向の状況が指摘されている。それに関しては、SNSやWebなどを含めたインターネットの影響が指摘されているが、はたしてそれだけで説明できるのだろうか。そもそも、この「信頼」とはいったいなにを意味するのだろうか。そして、近年みられるような「フェイク」や「オルタナティブ」に関しても、この「信頼」に問いかけることなく言及することは無意味であるように思われる。

本研究所は、2007年11月、基調報告者としてジャーナリズム倫理研究者クリフォード・クリスチャンズ、討論者として朝日ジャーナリスト学校長村松泰雄（当時）を迎えて、同名のシンポジウムを開催した。それから10年……本シンポジウムはその「再訪」の試みとなる。

2 概要

主催：日本大学法学部新聞学研究所

日時：2017年12月16日（土） 午後3時～6時

場所：日本大学法学部三崎町校舎 10号館 1031 講堂

〒101-8375 東京都千代田区三崎町2-3-1

①基調報告：大井 眞二（日本大学法学部）

②パネル討論

司会：佐幸 信介（日本大学法学部）

パネリスト（順不同）

徳山 喜雄（立正大学文学部）

山口 仁（帝京大学文学部）

小林 義寛（日本大学法学部）

3 参加について

参加は無料です。事前の申し込みも不要ですので、当日直接会場にお越しください。
*詳細に関しては以下をご覧ください。

日本大学法学部 <http://www.law.nihon-u.ac.jp/>

問い合わせ先 小林 義寛（本研究所シンポジウム部門担当）

kobayashi.yoshihiro@nihon-u.ac.jp